

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 その他河川 東江の川通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 砂防 構造物基礎

ボーリング名	Bor-3	調査位置	広島県呉市川尻町板体地内	北緯	34° 14' 49.7400"
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	令和5年 6月 14日 ~ 令和5年 6月 16日	東経	132° 40' 45.3170"
調査業者名		主任技師		現代理人	
孔口標高	T. P. 252.65m	角	180° 上下 90° 0°	コ	ア 定 者
総削孔長	6.00m	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平0° 鉛直90°
		使用機種	試錐機 東邦D0	エンジン	ヤンマー-NFD-12
				ポンプ	東邦BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試験採取番号	室内位置試験	削孔月日										
												深度-N値図									深 度 (m)	試 料 採 取 方 法								
1	251.35	1.30		玉石混じり砂礫		茶褐色	rd5		新世代第四紀	径50mm以下の亜円～円礫と中～粗砂からなる砂礫主体。最大コア長20cmの硬質玉石が不規則に混入。漏水有。	06/19 2.26	0	10	20	30	40	50	375	1.15 1.19	50 100	50 100	50 100	40	1.15 1.19	P3-1	⊖	6/14			
2	250.10	2.25		玉石		暗灰				最大コア長90cmの硬質な流紋岩玉石。								167	2.30 2.49	50 50	50 50	50 50	90	2.40 3.00	P3-2	⊖				
3				玉石混じり砂礫		淡茶褐色	rd5		中生代後期白亜紀	径5～50mm程度の亜角～亜円礫と中～粗砂からなる砂礫主体。最大コア長20cm程度のコア肌溶らから亀裂のない硬質な短棒状玉石が不規則に混入。全体的に細粒分少量混入。基質の砂はやや締まっており、径1～3cm程度の硬質な岩片が不規則に混入。								214	3.07	50 50	50 50	50 50	70	3.07	P3-3	⊖				
4				砂礫														250	4.35 4.41	50 50	50 50	50 50	60	4.35 4.41	P3-1	⊖	6/15			
5	247.65	5.00		流紋岩		暗緑灰				流紋岩質凝灰岩（軟岩II）。コアは短柱状で採取され、コア肌は滑らか。全体的に網目状の密着した亀裂が発達しているが硬質である。全体的に傾斜角約20°の割れ目が発達し、割れ目内は風化変質し軟質化。深径5.80～6.00m間は風化変質が進んでおり、岩片～礫状コアで採取される。											貫入不能	50	0			貫入不能				6/16
6	246.65	6.00																貫入不能	50	0			貫入不能				6/16			